

Business Alliance Consortium

建設DX BWG

ご紹介

株式会社建設ドットウェブ

2024年

➤ 建設業界

経営の変革(DX)に向け、人材不足、資材高騰など、**業務改善の課題が山積**している

➤ ターゲット市場

建設投資額は過去20年で最大(約61兆円) ※2021年度 国交省発表

建設許可業者数47.3万社 ※2021年度 国交省発表

システム化率(電子M60%、**基幹業務16%**、**EDI:17%**、**GW:8%**) ※中小企業庁資料より抜粋

➤ 個々のサービス提供では解決できない(単なる一部のシステム化だけ)

建設DX BWGのパートナー同士が協業でき、1社では解決しないお客様の課題に応じていく(BWGへ相談すれば解決の糸口が見つかる = パートナー満足 ↑ = 案件相談 ↑)

➤ IBMソリューションリーグ

IBMテクノロジーと連携して動作する業務アプリケーションや情報基盤ソリューションをお持ちの企業様と弊社がつながり、双方の技術や強みを活かしながら、ここから生まれるコラボレーション価値を高める

<建設DX BWGの特長>

- ・フロント業務～ミドル業務～バックオフィスまで支援できる
- ・エンドユーザー参加型(他のBWGにはない形を目指す！)

<建設DX/BWGのめざすところ(ビジョン)>

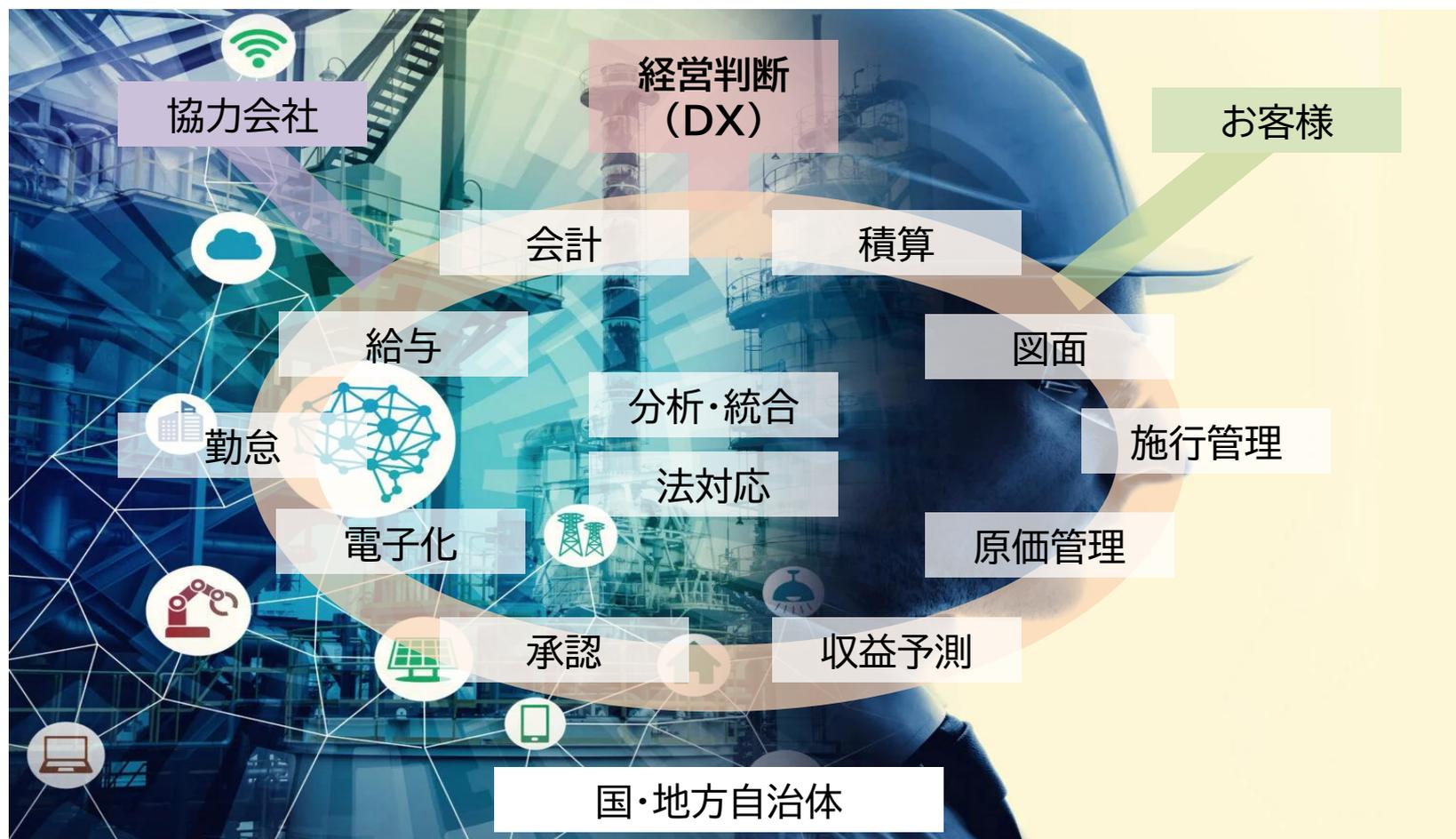
建設会社×取り巻く環境の課題に対し理解を深め、解決のヒントを議論し、発信することで、建設業の単なるデジタル化ではなく継続した発展を支援する

<どのようにしてビジョンを達成するか(戦略)>

1. ビジネスの垣根をこえた建設業に関する情報交換(競争→共創)
2. 業界勉強会(外部講師やメンバー同士で学び、議論する)
3. 情報収集と検証(ウェビナー、WEB発信を活用し、情報収集・検証する)

情報交換 ⇄ 勉強会 ⇄ 情報収集・検証





活動方針

- 経営の変革(DX)に向け、IT支援を包含的に行うことで建設業の業務改善、環境課題(法改正、資材高騰や人材不足など)へ取り組む土台を作り、DX実現をあらゆる面で支援する

- 運営メンバー(6名)
建設ドットウェブ(2名)、応研(2名)、協栄産業(2名)

- 参加企業 順不同

ピー・シー・エー

応研

オービックビジネスコンサルタント

マイクロシステム

株式会社ミライト・ワン・システムズ

FDC(電気設備工事 エンドユーザー)

※今後は お客様参加型BWG を推進していく



働く、が変わるとき。



応研 株式会社



- 定例会
第2金曜日 11時～12時
- 企画・運営会議(運営メンバー)
ChatWork
定期MTG
- スケジュール(2024年)
2月 BIM・積算の勉強会
3～4月 外部講師招聘
5月以降 セミナー開催を検討
7月 定例会(予定)

▼参考:建設工業新聞(2023年7月ウェビナー)

20日に建設業セミナー

インボイスの注意点など

建設ドットウェブ

BAC建設DXビジネスワーキンググループの建設ドットウェブ(金沢市)、応研(東京)、オービックビジネスコンサルタント(同)、JBAアドバンスト・テクノロジー(同)、ピー・シー・イー(同)、ミライト・ワン・システムズ(同)は20日、建設業向けセミナー「建設業界の悩みを解決するヒントを考える1日」をZoomウェビナーで開催する。

建設業特有のインボイスにおける注意点と、建設業向けのトップベンダーが経験、事例をもとに

富山など全国11県に拠点翌日の配送網を拡充

アマゾン

インターネット通販大手アマゾンジャパン(東京)は、10月までに富山など全国11県に配送拠点を増設すると発表した。配送拠点は国内50カ所以上に拡大し、日用品など700万点以上の翌日配送が可能となる地域が広がるという。

増設するのは「デリバリーステーション(D

る。プログラムは、BACの説明や建設業を取り巻く環境の変化(法改正や業界課題)、ユーザー事例の紹介など。参加無料。定員は150人。時間は午後1時半から3時。

S)という名称の仕上げ拠点。アマゾンは、注文を受けた商品を物流大手に配送してもらうほか、DSを経由して委託業者に注文者の自宅などへ届けてもらっている。

11県のうち、栃木、群馬、富山、山梨、静岡、奈良、岡山の7県では初めてのDS開設となる。

拠点の増設により、DSから各戸への配送委託などで3500人以上の雇用が新たに生まれるという。

建設DX BWG メンバー募集！！

各ベンダーの個々の力では建設業のデジタルイノベーション止まり
デジタルイノベーション→DX への変革は1社では到底実現できません

各社の連携によって多方面からのサポートを実現し、建設会社の未来を一緒に創っていきませんか？

このワクワクした活動にご興味のある方は、ぜひご連絡下さい

▼窓口:

建設ドットウェブ 営業本部 戦略企画センター
高橋良知 y.takahashi@kendweb.net